

あなたも活動に参加してみませんか！

▲ 中学生・高校生諸君、親善大使に参加してみませんか

サーモンアームとの交流を始めて6年、すでに70名を越す中・高生のみなさんがカナダを訪問したことになります。21世紀を担う若い世代が、積極的に国際化を目指してもらいたいと思います。村当局も期待しています。



ディズニーランドで(1995年)

▲ ホストファミリーをしてみませんか

言葉は通じなくとも、特別な準備に気を使わなくとも、ナマの日本の生活を見てもらうのもうれしいものです。カナダの人とはとても好奇心旺盛で素直に喜びを表現します。

お父さん、お母さん、妹、弟と家族そろって楽しい一週間が送れること受けあいです。

▲ 一般より公募の親善団も派遣

昨年を第1回として、村合併40周年記念の一環として親善団を一般から公募して派遣しました。サーモンアームの訪問をするなかで、観光は勿論、パーティーの招待などもあって楽しい旅であったということです。



サーモンアームをたずねて(1992年)

▲ あなたのサポートを待っています

姉妹都市委員会は、東村とサーモンアーム市との交流を通して、相互の親善をはかっていく会です。親善大使のすすめや、ホストファミリーのすすめ、その他交流のためのいろいろなイベントのサポートを必要としています。ご協力をお願いします。

姉妹都市交流委員会では、上記のような活動をしています。あなたも入会していっしょに活動しませんか。興味のある方は、役場総務課または会員までご連絡下さい。

会 員 名 簿

会 長	坂 本 允	西 代	会 員	吉 田 薫	伊佐部
副会長	糸 賀 寛	町 田	"	黒田保彦	上須田
"	板 橋 要	市 崎	"	坂本弥太郎	幸 田
会 員	飯塚幸一	市 崎	"	木内義延	押 砂
"	吉田慶治	結 佐	事務局	山口勝夫	市 崎
"	渋谷隆幸	結 佐	"	吉田多嘉子	伊佐部
"	根本狂平	阿波崎	"	総 務 課	結 佐

□印は広報委員

編集後記

一昨年カナダを訪問した折、出迎えてくれたスペンサー氏をサスペンスと呼んでしまっていてみんなで大笑いした。昨年来日した学生の一人、アンディーの家が全焼したと聞いてすぐに飛んで行けないもどかしさを感じた。

交流して約6年、陽気で屈託ないカナディアン顔が浮かぶ。村に正式な姉妹都市委員会ができ、いよいよ本格的な交流が推進される。広報紙も創刊とあって生みの楽しみを味わった。精読と今後のご協力を願っている。

(吉田)

姉妹都市

Sister Cities



サーモンアーム

No. 1
1996. 3



Contents
●姉妹都市はぐくんで6年
●Greetings
●Beautiful サーモンアーム
●あなたも参加しませんか

さよならパーティーで、もちつきをするカナダの皆さん(1995年)

姉妹都市はぐくんで6年

東村とサーモンアーム市が姉妹都市の交流をはじめて6年を迎えようとしています。

毎夏、東村からサーモンアーム市にむけて中学・高校生の親善大使を送り、ホームステイをしてきました。

また、サーモンアーム市からも沢山の学生を迎えて6年、来たる3月24日には、6回目の親善大使が東村にやってきます。

この交流のきっかけとなったのは、本会の会長坂本允氏とクリス氏との出会いでした。坂本氏の三女、典子さんがABC英語センターに学ぶなかで、カナダ留学の労

をとってくれたのが、校長のクリス氏でした。坂本氏は東村の若者にも国際感覚を身につけさせたいという願いを強くもち、交流の橋わたしをクリス氏に依頼したという経緯があります。

村当局の理解もあり、この交流は少しずつ広がって中学、高校生の貴重な体験の場となりました。

国際化の時代、あなたもこの活動に参加し、研修してみませんか。きっと楽しい体験を通してすばらしい世界が開けますよ。(広報委員記)

Greetings あいさつ



国際的センスの育成を

姉妹都市交流委員会顧問

東村長 成毛平昌

カナダ国サーモンアーム市と姉妹都市提携を結んで6年が経過しようとしています。この間大勢の方々のご努力ご協力をいただき両市村の交流事業がすばらしい形で実施されておりますこと誠にご同慶の至りであります。

又昨年は東村合併40周年の記念事業として例年行っている青少年の派遣交流と併せて大人の人達の派遣も実施することができました。参加された方々から大自然のすばらしい国カナダ、そして人情細かな心暖まるサーモンの皆様の大歓迎を受け本当に良かったよという報告を受け、私自身大変ありがたくうれしく思った次第であります。

今は好むと好まざるとにかかわらず国際化時代になっております。小さい時から国際的センス又情報を身につけることは一層大事になってくると思います。その中でも世界の共通語と言われる英語圏の方々との交流はより意義のあることだと思えます。委員会の皆様をはじめ村民各位の一層のご協力を心からお願いしご挨拶と致します。



交流を推進して6年

姉妹都市交流委員会

会長 坂本 允

姉妹都市交流委員会は、東村とサーモンアーム市の交流の手助けをして推進しようという主旨で結成されました。このたび、第1号の機関紙を発行することになり今後この紙面を通してお互いの交流を村民の皆様にお知らせしてまいりたいと思います。

21世紀にむかって益々国際化する世界の中で、東村の子供達にも国際感覚を養ってもらいたいと願って、平成2年にスタートしたこの事業も6年が経過しようとしています。この間、村民の皆様、議会、関係機関の皆様には事業推進上ご協力をいただき感謝を申し上げます。

この6年にも多くの子供達をサーモン市に送り、又サーモン市からも受け入れをするなどの交流が続き、地図の上でしか知らなかった国との交流が続いています。サーモン市では学校教育の中で日本語が取り入れられたということです。カナダへの留学生も多くなりました。

今後もこの事業と委員会へのご協力お願い致します。

知っていますか
Beautiful
サーモンアーム

サーモンアーム



特徴 標高412m、大きな湖に面した風光明媚な町。
気候 四季があり、比較的温暖だが、冬には大雪。
人口 約13,000人
輸送 バンクーバーより車で5時間。
小型機でサーモンアーム空港への便もあり。
行政 市長、議員(6名) 任期3年

気さくで陽気なカナディアンに接して 渡辺 裕子

私がカナダ、サーモンアームに足を踏み入れたのは、高校2年生の夏でした。5年以上経った今でも、あの楽しかった2週間は決して忘れることはない貴重な思い出です。



ミッシェルと私(1991年)

不安と期待の中でのホームステイ。ホストは私を暖かく迎えてくれ、見るもの、聞くものみな新鮮でした。今思い出すのは楽しかったことばかりです。

日本へ来たカナダ人も何度か受け入れていますが、初めて我が家に来たミッシェルは、着物が着たいと言い出し、母が着付けをしてやると、とても嬉しそうな顔をしてきよならパーティーへと向かいました。彼女は会場で注目の的になり、他のカナダ人の女の子達はみな羨しがっていたのがとても印象に残っています。着物が彼女にとっても似合っていましたから。

みなさんも気軽に姉妹都市の交流に参加してみませんか。言葉の壁はあっても、そこには新しい発見が山ほどあります。そして、絶対よかったと思うこと間違いなしです。私の経験を通して。

東村のみなさんへ はじめまして クリス・フィリアットロー

To the people of Azoma,

It's been 6 years since Makoto Sakamoto and myself pioneered the Twinning of Salmon Arm and Azoma with Mayor Naruke. Although not yet widely known the Twinning is becoming what a Twinning should truly be; A friendship between 2 people, a bond between 2 towns, a bridge between 2 countries. For the benefit of our children, I hope this Twinning will continue far into the future.

Chris Filiatto



〈プロフィール〉
1961年カナダ生まれ
1983年来日
家族は俊子夫人と3人の息子
下総町在住
ABC英語センター校長

〈訳〉

東村のみなさんへ
6年前に坂本允氏と私は成毛村長と一緒に東村とサーモンアーム市の結びつきを開拓しました。まだ広がりはないけれども、姉妹都市は必ずや人々の友情を、町としての結びつきを、そして国同士の橋わたしとなっていきます。

子供達のためにも私はこの姉妹都市が将来に続くことを望んでいます。